むすび

155号　2017年 春号

一般社団法人高知県労働者福祉協議会機関紙
高知市本町4丁目1-32　こうち勤労センター内
TEL 824-3583　FAX 875-4887
E-mail kochirf@shirt.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.roufuku.com
発行責任者　折田　晃一

日高村（霧山）　　写真提供：牧村光彰氏（労安センター）

◎主な内容

＊ 高知県労福協研修会開催 …… 2P
＊ 確定申告無料相談会開催 …… 3P
＊ 西部労福協第47回定期総会開催 …… 4P
＊ 第43回労働安全衛生学校のお知らせ …… 4P
＊ 高知県立大学にて労働法ワンポイント講座開催 …… 5P
＊ 西部労福協研究集会開催 …… 6P
＊ 四国ろうきん第25回職場対抗駅伝大会 …… 7P
＊ 全労済高知県本部≪ぼうさいカフェ2017inイオンモール高知≫ …… 8P
＊ 連合高知≪労働相談ホットライン≫ …… 9P
＊ 高知県健康政策部健康長寿政策課≪高知家健康パスポートⅡ≫ …… 10P
＊ 高知県労働委員会 …… 11P
＊ クンペル高知≪会員募集中≫ …… 12～13P
＊ 高知県労福協研修会のお知らせ …… 14P

2016年度高知県労福協研修会を開催

「南海トラフ地震に備えて」～自分･家族･顧客の命を守る～
～こんな場合どうする!?　具体的なケーススタディを通じて、しっかり考えよう!～

1月21日（土）に、高知会館にて2016年度高知県労福協研修会を各会員団体・退職者など多くの皆さんに参加いただき、65名の参加で開催しました。

講師は、高知市防災対策部地域防災推進課・防災士：山本美咲氏で、研修会に先立ち地域防災推進担当係長山中晶一氏より、地域防災推進課の取り組み報告があり研修会に入りました。

研修会の冒頭、午後からの開催ということで講師より頭の体操と体の体操を行い研修が始まりました。過去の南海地震の歴史から、南海トラフ地震の起こる確率の高さの説明があり、いつ起こってもおかしくない状態であるとのことであった。

地震想定のレベル1（昭和の南海地震）・レベル2（東日本大震災）の紹介があり、地震で最初にやってくるのは揺れであり、スクリーンによる「阪神淡路震災」の映像にて揺れの怖さを実感し、その後津波の動画では、海に近い「釜石市役所の撮影動画」、少し海から離れた「宮城県多賀城市の動画」で、海からの距離・地形により、津波の波力・波の勢いの違いが説明された。

津波の想定では、地区により津波の到達時間や深さが違い、高知市ではかなり広いエリア・広域に渡って、1時間以上経過してから津波が来る場合もあり、津波がすぐ来ないからと言って、避難をやめてしまうとその後、来ることもあり時間も非常に大切なポイントになるとのことであった。

自宅や事務所での転倒の防止対策が重要とのことで、転倒の恐れのある物は固定し、配置の見直しや避難経路を確保するためのレイアウトを見直すことが大切であると説明があった。

参加者へ配布されたワークシートによる具体的なケーススタディにて、自身の行動の想定内容の確認を行った。

これらがもしもの時の対応につながる、「事前の極意」であり、具体的には今日のような研修で、知識を取得し、自分だったらどうなのだろうとイージトレーニングを実施し、今後各事業所や、地域での防災訓練、ＡＥＤ・心肺蘇生法や消火器の使い方の訓練など積極的に参加する。もし自分が出来ないのであれば、大きな声を出して、「医療関係者の方いらっしゃいませんか」「消火器の使い方わかる方いらっしゃいませんか」と周りに助けを求めることも大切であるとの説明があった。地震発生後、揺れから命を守り、津波から命を守り、そして命を繋ぐということが始まる。命を守った後、避難所生活の話があり、参加者の理解が深まった。

最後に、講師より「皆さんの大切なご家族がどこに避難するか、必ず共有しておいてください。ご家族の安全が確認できないままでは、職場の対応とかお客様の対応もなかなかままならないと思います。安否確認の方法もありますので、ぜひ皆さんのご家庭でも話し合って、これからの対策に活かしていただきたい」で研修会を締めくくりました。

2016年度確定申告無料相談会開催

■労福協・連合高知・高知県退職者連合・四国労働金庫の４団体の共催で実施

2017 年 2 月 1 日（水）から須崎会場を皮切りに、安芸会場・南国会場・高知会場（2 日間）で確定申告無料相談会を監修：森本倫光税理士事務所で開催いたしました。

この相談会は、主に退職者や年金受給者など広く一般県民を対象に実施しており、労金住宅ローン利用者、2016 年度退職者など多くの方が参加いたしました。

森本倫光税理士事務所監修のもと、各会場では税理士が確定申告の相談を受付し、国税庁の電子申請システムを利用して申告を行う方式にて、相談者が税理士の専門的なアドバイスを受けられ、当日申告が完了し待ち時間も少ないこともあって、多くの方に好評を得ている取り組みとなっています。

■退職者や医療を負担されている方、保険料を支払っている方は申告を

公的年金等による収入額が 400 万円以下で一定の要件を満たす場合には、確定申告をしなくても良いと税法が改正されています。このため多くの方が医療控除や保険料控除など、還付の権利を放棄していることとなります。

今年度の相談は、4 会場 5 日間で 178 件の相談予約を受付し、当日参加者 178 名で還付 135 件・納付 19 件・申告なし 24 件となりました。

2017 年度も各会場で開催を予定していますので、確定申告無料相談会へ参加し申告することをお勧めいたします。

くらしの相談　まるごと解決！

労働・融資・共済（保険）・法律・土地・税金・健康・教育等

について各部門の専門家がお答えします。

困ったな？と思ったらまずご連絡ください。

フリーダイヤル　ローフク　イコーヨ
®０１２０－６２９－１５４（完全予約制）平日のみ９時～１７時

くらしの相談センター高知

（高知県労働者福祉協議会内）

西部労福協第47回定期総会開催

2017年2月16日山口市の「ホテルかめ福」にて第47回定期総会を開催しました。

総会は西部労福協古都幹事（山口県労福協専務理事）の開会で始まり、総会議長に杉本郁夫代議員（中国ろうきん山口県営業本部長）を選出しました。

まず主催者を代表し西部労福協杉本会長より挨拶、その後中央労福協花井事務局長、山口県商工労働部中野審議監、山口市渡辺市長、連合山口中繁会長、中国ろうきん石井理事長より祝辞と連帯の挨拶をいただきました。

その後、議案審議に入り城石事務局長より、2016年度活動報告・決算報告、2017年度活動方針・予算等、また監査報告では景山会計監査（連合島根副事務局長）より報告・提起が行われ、それぞれ満場一致で承認されました。

総会終了後は、山口県内で子どもの貧困問題に取り組む「こども明日花プロジェクト」の取り組み報告について、代表の児玉頼幸様よりご講演をいただき、参加者は熱心に耳を傾けました。

第43回 労働安全衛生学校

受講料無料

テーマ　**「人らしく働く」　～働き方改革について考える～**
講師：大野義文氏　元労働基準監督官

日　時　**2017年5月27日（土）午前10時～12時**

場　所　**高知会館**（県庁前電停南）

主　催　ＮＰＯ法人　高知県労働安全衛生センター
一般社団法人　高知県労働者福祉協議会
日本労働組合総連合会高知県連合会（連合高知）

労働法ワンポイント講座開催!!

2016 年 10 月 31 日・2017 年 2 月 27 日、高知県立大学大講義室にて、参加者 87 名で労働法ワンポイント講座を開催しました。

講師は田中孝児（連合高知）氏で両日とも 90 分講義、「知ってお得な労働法」と題して、高知県労福協作成の『働くときに知っちょきたいこと』をテキストに「社会人としてのマナー」「労働契約」「就業規則」・・ｅｔｃ、解りやすく説明し、好評を得ました。

後日、参加者よりアンケート回答にて、非常に良かったと感想もいただきました。

アンケート集約抜粋

◎雇用に関する知識が増えてよかった。
◎労働法について知らないことが多く学べた。
◎社会人としてのマナーや企業、仕事について学ぶことが出来た。
◎就職活動の時にどんなところに気をつける、注目すれば良いか解った。
◎労働者の義務や権利を知ることが出来た。
◎職場を探す際に給料や休暇など、きちんと確認していくことで、自分の将来設計に繋がることが解った。

働く前に知っておきたい!

労働法ワンポイント講座

～知ってお得な労働基準法～

『一般社団法人高知県労働者福祉協議会』の方をお招きし、
「社会人としてのマナー」　「労働契約」　「就業規則」
「労働時間」「休日」「賃金」「各種保険」･･･etc
就業前に知っておきたい知識をお話します！

授業優先

日程	2017年2月27日（月）
時間	13:00～14:30
場所	大講義室
対象	看護学部　3回生
講師	日本労働組合総合連合会 高知県連合会（連合高知）　田中 孝児 氏

就職に役立つ知識を身に付ける為に

「働くときに知っちょきたいこと」

セミナー開催ご希望の場合は、
高知県労福協までご連絡ください。
（時間・内容の詳細は応相談）

☎ 088-824-3583

「安心・共生社会実現に向けて」をテーマに

2016年度西部労福協研究集会を開催

2016年11月10日（木）～11日（金）、徳島県徳島市「徳島ワシントンホテルプラザ」で、中四国9県の地方労福協、事業団体、労働団体80名の参加で開催、高知県労福協より8名が参加しました。

開催にあたって、西部労福協杉本宗之会長、開催地の徳島県労福協の川越敏良会長、開催地の熊谷幸三副知事、四国労働金庫小川俊理事長の挨拶があり講演に入りました。

講演Ⅰ「職域・地域で労働者自主福祉運動の前進に向けて」

中央労福協　山本幸司参与

① 暮らしの足元が揺らぎ、社会の底が抜け落ちようとしている日本社会
② 社会のあり方を根底で規定する要因の変化、問題の所存は？
③ 労福協と労働者自主福祉運動の草創と若干の教訓
④ 労働運動、協同組合運動は社会を変える力を持っているか？

講演Ⅱ「定住外国人の就労・社会参加促進事業について」

徳島県労福協　兼松文子事務局次長

① 徳島県労福協の就労支援事業
② 取り組みと課題
③ 連絡協議会での課題改善への取り組み

講演Ⅲ「奨学金の現状と今後の課題」

中京大学　大内裕和教授

① 奨学金問題への関心
② 奨学金制度の現在と歴史
③ 上昇し続ける大学学費と経済的困難
④ 高卒就職の困難
⑤ 大学卒業後の就職難の拡大と奨学金返済の困難
⑥ 奨学金制度の問題点
⑦ 2014年度予算における制度改善
⑧ 奨学金制度改善の方向
⑨ 2015年度予算から2016参議院選挙へ
⑩ これからの具体的な取り組み

講演Ⅳ「奨学金制度の改善に向けて」（第３ステージの取り組み）

中央労福協　北村祐司事務局次長

① 第３ステージ取り組み
② 労働者自主福祉運動として出来ることの検討

上記各講演が行われました。参加者は大変勉強になり、今後の活動に活かして、地域での活動の広がりを進めて行くことの決意となったことと思われます。

高知県労福協は、給付型奨学金導入に向けて第３ステージの取り組みを進めて行きます。

変えよう！奨学金　≪貸与から給付へ≫　≪有利子から無利子へ≫
≪学費を含めた教育費負担の軽減≫　≪当事者の声を反映したより良い制度へ≫

四国ろうきん 第25回職場対抗駅伝大会

高知市内を南北に分断する鏡川の緑地帯みどりの広場を中継点として、6 区間を競う職場対抗駅伝大会を 3 月 11 日（土）に開催しました。最終的に 47 チームの参加で、選手・スタッフ・応援を含め約 500 名が集った大会となりました。

参加チームからの警備要員の方のご協力も含め、事故やけがもなく、全体の運営も昨年よりスムーズに進めることができました。

競技方法は、スピードを競うタイムレースに加え、事前にチームの申告タイムを登録していただき、実際の時間との誤差を競うピッタリ賞の 2 部門を用意。また、個人区間賞も表彰しました。

「ろうきん職場対抗駅伝」はすっかり職場に根付き、常連参加チームでは新春の恒例行事として、初めての参加チームには、今後もぜひ継続的に参加もお願いしたいところです。

天候にも恵まれ、絶好の駅伝日和となり、今年も多くの職場から、たくさんの選手のみなさんが参加してくださいました。

各チームの選手の皆さんが、元気よくスタートしました。
日頃の練習の成果を発揮するべく、また、チームとしての目標に向けて、それぞれの思いとともに、たすきをつなぎました。

■イベント開催報告■

ぼうさいカフェ 2017　in イオンモール高知

開催日時：2017 年 2 月 26 日（日）
開催場所：高知市イオンモール高知

2017 年 2 月 26 日（日）に、イベントを楽しみながら防災に役立つ知識や体験を身に付けよう！と「ぼうさいカフェ 2017in イオンモール高知」を開催しました。

ぼうさいカフェは内閣府が防災知識モデル事業として社会全体の防災力向上や、国民の防災知識を高めるために推進している取り組みです。

全労済高知県本部では 2013 年 3 月 (高知市中央公園)、2014 年 6 月 (四万十市立中央公民館)、2016 年 2 月（高知市イオンモール高知）に続き、今回で 4 回目の開催となりました。

当日は、約 3,200 人の方にご来場いただき、南コート・セントラルコート・東駐車場の 3 カ所で「見る・知る・学ぶ」をテーマに今後起こると言われている大地震発生への備えを学んでいただきました。

会場の様子

県内のキャラクターと

保障相談コーナー

ＡＥＤ操作や緊急対応を学ぶ

須崎高校の防災ステージ

高知高専どぼじょによる実験

震度７の揺れを体感

煙が充満し少し先も見えません

防災絵本の読み聞かせ

女性のための
労働相談
ホットライン
連合

悩 長年、契約更新を繰り返してきたのに、突然「更新しない」と言われた

※無期転換ルールの導入にともない、2018年4月を前に契約打ち切り等、雇用問題の増加が危惧されます。

モヤ
悩 「男性の介護・育児」に対する理解がない

モヤ
悩 「パートだから」と有給休暇を取らせてもらえない

モヤ
悩 採用面接で「プライベート」な質問をされる

職場でこんな悩みを抱えて困っていたら…

女性のための
労働相談
ホットライン
～職場のモヤモヤありませんか？～

2017年6月12日(月)～13日(火)
午前10時～ 午後7時

ひとりで悩んだり、我慢したりせずに、
連合に相談してみませんか？

フリーダイヤル
0120-154-052
いこうよ　れんごうに

秘密厳守 | 相談無料 | 携帯スマホOK

※電話をかけた地域の連合の事務所につながります。
※上記フリーダイヤルは常設です。
左記期間以外でも相談を受け付けています。

連合高知

平成29年４月、高知家健康パスポートⅡ がスタートしました！

提示するだけで特典が受けられ、使うほど元気になれる「高知家健康パスポート」。
昨年９月から「高知家健康パスポートⅠ」をスタートし、現在10,000人以上の方にご利用いただいています。
この４月から、さらに楽しく健康づくりに取り組んでいただけるよう、新たにⅠの上位ランクとなる「高知家健康パスポートⅡ」をスタートしました。《対象：20歳以上の県民》

高知家健康パスポートを活用して、日々の健康づくりに取り組もう！

パスポートⅠを入手しよう

申請はがきに２種類以上、合計３枚のシールを貼って申請することで、郵送や市町村などの窓口でパスポートⅠが交付されます。

ピンクシール【健診を受ける】
特定健診、がん検診、人間ドック*、生活習慣病予防健診*、乳幼児健診などを受診することでシールがもらえます。
（各健診につき1枚、＊印は2枚）
※特定健診を医療機関で受診された場合は、健診結果通知に同封してシールを交付します。

グリーンシール【知る・参加する】
県内の指定されたイベントへの参加、献血への協力、特定保健指導の利用*、高知家健康づくり支援薬局の相談利用などでシールがもらえます。
（各1枚、＊印は2枚）

ブルーシール【楽しく動く】
県内の指定された運動イベントへの参加、参加施設となっているプールやゴルフ場などの運動施設の利用などでシールがもらえます。
（各1枚）

パスポートを取得するとお得がいっぱい！

①参加施設で料金割引やプレゼントなどのおトクなサービスが受けられます！
②健康にいいことを実践してシールを集めると豪華賞品が当たります！
③特典が受けられる市町村の健康づくり事業に参加できます！
※実施していない市町村もありますのでお住まいの市町村にご確認ください

パスポートのランクアップについて

◆ランクアップの仕組み

健康パスポートⅠ

パスポート中面に、ピンクシールを含む２種類以上合計40ポイント分のシールを貼付してⅡにランクアップ！

健康パスポートⅡ

ポイント換算＊ランクアップ時のみ適用
- １枚＝５ポイント（必須）
- １枚＝１ポイント
- １枚＝１ポイント

40ポイント

◆ランクアップの方法

①窓口
市町村健康づくり担当課、県内５福祉保健所、県庁健康長寿政策課へ現在のパスポートをご持参ください。その場で交付します。

②郵送
県庁健康長寿政策課へ郵送してください。郵送代は申請者の負担となります。申請の際は、パスポートの１ページに住所・氏名・生年月日・性別を必ず記入してください。
提出いただいた現在のパスポートはお返しします。

◆ランクアップに応じた特典

①参加施設での特典がさらにおトクに
②ランクアップ者限定抽選プレゼント

＜お問い合わせ先＞
高知県健康政策部健康長寿政策課
〒780-8570　高知市丸ノ内１丁目2-20　県庁本庁舎４F
TEL.088-823-9675

高知家健康パスポートに関する情報はこちらから
公式サイト　http://www.health-pass.pref.kochi.lg.jp/
高知家健康パスポート　検索

高知県は、ひとつの大家族やき。

高知家

困っちゅうことは、何でもいっぺん相談してみいや!

職場のお悩み ご相談ください!!

相談無料・秘密厳守

ほいたら、みんなぁで、

いっしょに考えるきねぇ!

使用者相談例

配置転換・出向の拒否、
労働条件の円満な話し合い

労働者相談例

パワハラ、賃金未払い、
賃下げ、サービス残業、解雇

相談受付 8:30～17:15 月～金 (祝日・年末年始を除く)

お電話で **088-821-4645**

PC・スマホ・携帯の方はメール送信フォームからでも
www.pref.kochi.lg.jp/form/240101/mailform.html

高知県労働委員会

〒780-0850
高知市丸ノ内 2-4-1
県庁北庁舎 4F

URL：www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/240101/ 高知県労働委員会 検索

クンペル高知
KUMPEL
クンペルとはドイツ語で友人や働く仲間という意味で、(公財)高知勤労者福祉サービスセンターの愛称です。

月々500で始まる安心と充実

自己啓発
余暇活動

健康
維持・増進

在職中の
生活安定

老後の
生活の安定

財産形成
支援

会員募集中

会員制の互助組織
「クンペル高知」

◆加入対象

事業所会員は、高知市と南国市にある従業員300人以下の事業所で、事業所単位の加入とし、事業主と従業員が会員として利用できます。個人会員は、高知市、南国市に居住し、事業所会員として加入されていない中小企業に勤務する勤労者が対象です。

◆会員はひとりにつき月額500円

事業主は会員となった月からの会費を事業所でまとめて納入となります。加入の際、入会金がひとりにつき300円必要です（事業所会員の場合は、入会金の全額と、会費の半額以上を事業主が負担することが原則です）。

四国労働金庫、四国銀行、高知銀行、高知信用金庫、高知県信用農業協同組合連合会（農協）の各本支店のご指定口座より、年1回、2回、4回のうち希望回数で、引き落としさせていただきます。

※個人会員の場合は年1回または年2回の引き落としとなります。

公益財団法人　高知勤労者福祉サービスセンター

あなたの生活、応援します。

1 在職中の生活安定をめざして

各種共済金の給付は、会員本人の結婚や出産、またお子さんの小中学校へのご入学の際や、会員本人の成人や還暦の祝い金、傷病や住宅災害の見舞金、家族や本人の死亡に対する死亡弔慰金などがあります。

2 自己啓発と余暇活動の充実のために

コンサートや観劇の他夏季大学の受講、映画や食事のチケットなどの割引や助成を受けられます。

3 健康の維持増進を図るために

生活習慣病予防検診や人間ドックの受診助成、また健康啓発講座などの受講やトレーニング施設、プールなどの利用の際にも助成を受けられます。

4 老後の生活安定をめざして

中小企業退職金共済制度の新規受付を行なっています。

5 財産形成のために

居住用住宅資金の貸し付け制度が低利で利用できます。

＼毎日イキイキ／

会員募集中

／もっと豊かに＼

お気軽にお問合せ下さい

ケンペル高知 KUMPEL

公益財団法人
高知勤労者福祉サービスセンター
〒780-0802 高知市丸池町1番1-14号　高知市勤労者交流館1階
TEL 088-885-9739
FAX 088-880-0027

http://kumpel-kochi.com/

認知症の基礎知識と認知症予防のヒント

♪音楽で脳を活性化♪

■高知県労福協研修会

7/20(木) 13：00～ 受付
13：30～ 開始

高知会館：飛鳥の間

定　　員：100名
参 加 費：無 料
申込締切：7/14(金)17時まで
申 込 先：一般社団法人
高知県労働者福祉協議会

■幡多ﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ研修会

7/19(水) 9：30～ 受付
10：00～ 開始

四万十市中央公民館

定　　員：100名
参 加 費：無 料
申込締切：7/14(金)17時まで
申 込 先：幡多ライフサポートセンター

※お申し込みについては、両会場とも別途お知らせいたします。

【講師紹介】

堀口　直子（ほりぐち　なおこ）
プロフィール
一般社団法人日本音楽レ・クリエーション指導協会　理事長
株式会社アリアミュージックオフィス　代表取締役
東京国際芸術協会会員／認知症高齢者研究所研究員／認知症予防音楽ケア体操指導員／介護予防指導員／ヘルパー2級

主　催

●一般社団法人 高知県労働者福祉協議会
高知市本町４丁目１番32号
こうち勤労センター5F
TEL 088-824-3583
FAX 088-875-4887

●幡多ライフサポートセンター
四万十市中村大橋通7-1-24
TEL 0880-34-9191
FAX 0880-34-9192

共　催

●連合高知　●高知県退職者連合